

静 岡 県

**静岡県医療計画**

位置づけ

- 静岡県総合計画の部門別計画
- 静岡県における保健医療施策の基本指針
- 計画期間:平成17~21年度

今回の改定のポイント

- 県民本位の計画
- NPMによる進行管理&実施

**医療計画の柱**

- 情報開示&提供
- 疾病管理
- 危機管理
- 進行管理

**情報開示&提供**

目的

- ◆ 患者が主体の医療機関選択
- ◆ 医療機関の機能連携・分担

**医療機関の機能分担**

地域の医療機関が話し合い、  
それぞれの特徴を活かした連携を

↓

**情報の開示**

- 地域における病院の位置付けが分かる。
- 病院経営の戦略立案に有益。等

## 医療機能情報の開示へ向けて

- 平成14年、医療事故報告通知
- 医療の質の向上を目的とした治験ネットの構築
- 県版標準電子カルテの開発

本当は、

- ・ 県医師会の理解と高い意識
- ・ 県病院協会の理解と高い意識

## 医療機能の選定

- 地域の医療連携に資する医療機能
- 国の通知「医療機能の例示」を参考
- 診療報酬請求項目を参照
- 各領域の専門の医師の意見を反映
- 各病院に対する調査依頼において、調査結果の公表を明記

## 静岡県医療機能調査

県内の病院の、主な病気の手術や医療処置の件数がわかります

この調査は平成16年度に県内97病院のご協力を得て行いました。

**1 調査した項目は？**  
 癌症診療(がん)、循環器疾患、小児医療などについて、手術の方式や処置ごとに、症例数を調査しました。  
 また、各分野を担当する医師のうち、専門医の資格をもつ医師数を併せて調査しました。  
 症例数は【平成15年度の実績】です。

**2 調査対象病院は？**  
 県内の病院のうち、地域の中核である97病院  
 次に、すべからず該当する病院を地域の中核病院として扱いました。  
 地域医療支援病院(地域医療支援志向型病院を含む)  
 地域がん診療拠点病院、2次救急診療参加病院、救急病院  
 総合がん診療院、結核療養を有する病院、エイズ拠点病院  
 精神医療ネットワーク参加病院、地域リハビリテーション病院  
 手術の方式や処置については、患者それぞれの病状等により、適するものが異なりますので、まず、かかりつけ医にご相談ください。

1 癌症診療
食道がん手術
胃がん手術
大腸がん手術
肝臓がん手術
膵臓がん手術
胆膵がん手術
乳がん手術
甲状腺がん手術
脳腫瘍手術
脳脊髄神経腫瘍手術
頸椎腫瘍手術
耳鼻科腫瘍手術
口腔外科腫瘍手術
泌尿器科腫瘍手術
婦人科腫瘍手術
皮膚科腫瘍手術
血液腫瘍
放射線治療
血管内手術

胃がん手術 胃がんの解説について国立がんセンターHPへリンク

手術方式・医療処置別症例数

- 早期胃癌EMR(内視鏡的粘膜切除術)
- 早期胃癌POR(光力学療法)
- 早期胃癌摘出手術
- 胃全摘術
- 腫瘍摘出(部分)下胃切除術

専門医数

静岡県医療機関情報提供ページに戻る

国立がんセンター National Cancer Center

## 胃がん

胃がんの解説の目次に戻る

胃がん

目次

- 胃がんとは
  - 胃がんの発生と予防
  - 胃がんの症状と診断
  - 治療
- 診断
  - 内視鏡検査
  - 超音波検査
  - CT
  - PET検査
- 治療
  - 外科療法
    - 胃切除術の種類
    - リンパ節切除術
    - 胃切除術の種類
    - 手術のリスクと合併症
    - 手術後の生活
    - 手術後のフォローアップ
  - 化学療法
    - 手術補助療法
    - 手術前療法
    - 手術後療法
    - 手術後療法(化学療法)
    - 副作用
  - 放射線療法
    - 手術補助療法
    - 手術後療法
    - 副作用
  - 緩和ケア
    - 手術前療法
    - 手術後療法
    - 副作用

胃がん手術 胃がんの解説について国立がんセンターHPへリンク

手術方式・医療処置別症例数

- 早期胃癌EMR(内視鏡的粘膜切除術)
- 早期胃癌POR(光力学療法)
- 早期胃癌摘出手術
- 胃全摘術
- 腫瘍摘出(部分)下胃切除術

専門医数

静岡県医療機関情報提供ページに戻る

胃がん手術(早期胃癌EMR(内視鏡的粘膜切除術))

病 院 名	所在地	年間症例数
公立静岡病院	新伊豆町	2
市立伊東市市民病院	伊東市	—
医療法人社団熱海済生会病院	熱海市	—
国際医療福祉大学静岡病院	熱海市	—
独立行政法人国立病院機構静岡医療センター	清水町	—
静岡県立静岡がんセンター	長泉町	180
沼津市立病院	沼津市	20
沼津市立病院	沼津市	1
伊豆赤十字病院	伊豆市	3
三島社会福祉病院	三島市	1
財団法人芙蓉協会聖隷沼津病院	沼津市	5
財団法人由方保健医療財団静岡伊豆医療センター	伊豆の国市	12
医療法人社団真美会田代病院	沼津市	2
医療法人社団済生会花沢病院	三島市	1
医療法人社団志仁会病院	三島市	1
地元堂大学医学部附属静岡病院	伊豆の国市	13

医療法人社団高崎会川村病院	富士市	22
伊川病院	富士市	5
静岡県立総合病院	静岡市	40
静岡市立静岡病院	静岡市	45
静岡市立清水病院	静岡市	20
静岡第一中央病院	静岡市	13
静岡厚生総合病院	静岡市	25
JA静岡厚生連静岡厚生病院	静岡市	2
社会福祉法人 巨港会病院	静岡市	2
静岡市立総合病院	焼津市	11
静岡市立総合病院	静岡市	-
医療法人社団豊平会つぎこニティ・ホスピタル甲斐病院	焼津市	-
医療法人社団平坂会静岡平坂総合病院	静岡市	-
静岡市立総合病院	静岡市	13
掛川西立総合病院	掛川市	6
静岡市立藤井市民病院	静岡市	10
掛川西立総合病院	掛川市	4
公立沼津病院	沼津市	2
独立行政法人労働者健康福祉機構済生会静岡病院	浜松市	38
浜松医科大学医学部附属病院	浜松市	2
浜松総合医療センター	浜松市	22
社会福祉法人松平十字病院	浜松市	2
静岡総合病院	浜松市	10
社会福祉法人松平十字病院	浜松市	5

## 疾病管理

生活習慣病等の慢性疾患への対応

- 診療所と病院との連携
- 病院と病院との連携
- 在宅医療の推進

↑

県版電子カルテの活用

## 静岡県標準電子カルテの導入

迅速なデータの参照による患者への説明  
(処方・検査結果・画像・レポート等)

円滑な医療機関相互の連携

治験や臨床研究のデータ管理

平成15年度  
統一様式・機能を協議

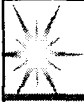
平成16・17年度  
電子カルテ開発  
県内参加病院へ配布

患者中心の医療の向上

## 危機管理

健康福祉部は総合的な危機管理部局

- 災害
- 精神科領域の措置入院など
- SARS等の感染症対策
- 食中毒
- 医療事故への対応
- 食の安全対策
- 生活衛生上の安全対策
- NBCテロ等への対応 等



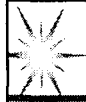
## 進行管理

### 新公共経営（NPM）に基づく進行管理

- ⌘ アウトカム指標に基づく達成状況の評価・改善、業務棚卸表の活用

### 2次保健医療圏における計画の推進

- ⌘ 保健所（健康福祉センター）による積極的な地域調整



## まとめ

### 医療行政の責任者としての意識改革

- ⌘ 箱物行政の枠の中で安住
- ⌘ 医療内容はアンタッチャブル
- ⌘ 県民本位と言いながら責任が希薄



理解と励まし

医療の質の向上へむけ前進

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
悪性腫瘍	食道がん手術	K527 K529	早期食道癌EMR(内視鏡的粘膜切除術)	件	
			早期食道癌PDR(光力学療法)	件	
			食道癌手術(2領域、3領域郭清)	件	
			鏡視下食道癌手術	件	
			顕微鏡下血管吻合を用いた消化管再建術(頸部食道癌に対する遊離空腸吻合)	件	
	胃がん手術	K655 K657	早期胃癌EMR	件	
			早期胃癌PDR	件	
			早期胃癌縮小手術	件	
			胃垂全摘術	件	
			胃全摘術	件	
			腹腔鏡(補助)下胃切除術	件	
	大腸がん手術	K719 K740	大腸癌EMR	件	
			開腹結腸切除術	件	
			腹腔鏡(補助)下結腸切除術	件	
			開腹直腸切除術	件	
			腹腔鏡(補助)下直腸切除術	件	
			骨盤内臓全摘術	件	
	肝・胆道系がん手術	K695 K697-2 K677 K675	肝切除術	件	
			肝癌局所凝固療法	件	
			胆管癌切除術	件	
			肝切除術(肝外胆管切除術を含む)	件	
胆嚢癌手術(肝切除を含まず)			件		
胆嚢癌手術(肝切除を含む)			件		

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
	すい臓がん手術	K703	幽門輪温存膵頭十二指腸切除術	件	
			膵頭十二指腸切除術	件	
		K702	膵体尾部切除術	件	
		K704	膵全摘術	件	
肺がん手術	K514	肺葉切除術	件		
		肺区域切除術	件		
		肺全摘術	件		
		肺部分切除術	件		
	K512	気管支形成を伴う肺切除術	件		
	K514-2	胸腔鏡下肺切除術	件		
乳がん手術	K476	乳房切除術	件		
		乳房温存手術(早期癌)	件		
		内視鏡併用乳癌手術	件		
甲状腺がん手術	K463	甲状腺腫瘍摘出手術	件		
脳腫瘍手術	K169	脳腫瘍摘出術	件		
	K151-2	頭蓋底腫瘍摘出術	件		
	K171	経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術(経鼻的手術)	件		
	K191	脊髄腫瘍摘出術	件		
整形外科領域手術	K053	原発性骨、脊椎、骨盤等悪性腫瘍郭出術	件		
		転移性骨、脊椎、骨盤等悪性腫瘍郭出術	件		
眼科領域手術	K236	眼窩悪性腫瘍に対する眼窩内容除去術	件		
	K241	眼内悪性腫瘍に対する眼球摘出術	件		
	K216	眼瞼結膜悪性腫瘍に対する切除再建術	件		
	K225	結膜悪性腫瘍冷凍凝固術	件		
	K225-2	結膜悪性腫瘍切除(摘出)術	件		



領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
	耳鼻咽喉科領域手術	K343	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	件	
		K374	副咽頭間隙悪性腫瘍手術	件	
		K394	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術	① 件	
		K395	①喉頭 ②下咽頭	② 件	
		K458 k460	耳下腺を含む唾液腺悪性腫瘍手術	件	
	口腔外科領域手術	K415	舌癌を含む口腔咽頭悪性腫瘍手術	① 件	
			①舌癌 ②その他口腔咽頭悪性腫瘍手術	② 件	
		K425	歯肉癌搔爬、切除	件	
		K442 K439	顎骨悪性腫瘍手術(搔爬、切除、全摘、切断)	件	
			①上顎骨 ②下顎骨	件	
	泌尿器科領域手術	K756	副腎摘出術	件	
		K803	膀胱全摘術(尿路再建術含)	件	
			経尿道的膀胱腫瘍切除術	件	
		K843	前立腺全摘術	件	
		K773	腎摘除術	件	
			腎部分切除術	件	
			体腔鏡下腎手術	件	
	婦人科領域手術	K879	広汎子宮全摘除術	件	
			準広汎子宮全摘除術	件	
			単純子宮全摘除術(悪性腫瘍)	件	
K889		子宮附属器悪性腫瘍手術(卵巣癌手術)	件		
皮膚科領域手術	K007	皮膚悪性腫瘍手術	① 件		
		①切除術 ②レーザー治療		② 件	

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
	血液領域		急性白血病(新患数)	件	
			慢性白血病(新患数)	件	
			リンパ系腫瘍(新患数)	件	
	放射線治療	M001-3	リニアックによる放射線照射	件	
		M004	小線源による組織内照射	件	
	血管内手術	K612	血管塞栓術(TAE等)	件	
	温熱療法	M003	電磁波温熱療法	件	
PET検査	E101-2	悪性腫瘍に対するポジトロン断層撮影	件		

\* 専門医の実人員については、各医療機能ごとに、当該医療機能に関する専門医の実人員を記載してください。

なお、専門医の範囲については、「広告が可能な医師及び歯科医師の専門性に関する資格名等について」(平成14年7月17日付け医政総発0717001号厚生労働省医政局総務課長通知(最終改正平成16年6月29日付け医政総発第0629001号医政局総務課長通知)により、広告することできる専門医の資格を有する医師及び歯科医師を、下記の資格等一覧表から該当する資格名の記号ごとに実人員を記載してください。

また、1人の医師が複数の専門医の資格を有する場合は、専門医の資格単位で実人員を計上してください。

#### 専門性に関する資格等一覧表

記号	資格名	記号	資格名	記号	資格名
ア	整形外科専門医	ス	糖尿病専門医	ノ	消化器外科専門医
イ	皮膚科専門医	セ	肝臓専門医	ハ	超音波専門医
ウ	麻酔科専門医	ソ	感染症専門医	ヒ	細胞診専門医
エ	放射線科専門医	タ	救急科専門医	フ	透析専門医
オ	眼科専門医	チ	血液専門医	ヘ	脳神経外科専門医
カ	産婦人科専門医	ツ	循環器専門医	ホ	リハビリテーション科専門医
キ	耳鼻咽喉科専門医	テ	呼吸器専門医	マ	老年病専門医
ク	泌尿器科専門医	ト	消化器病専門医	ミ	心臓血管外科専門医
ケ	形成外科専門医	ナ	腎臓専門医	ム	呼吸器外科専門医
コ	病理専門医	ニ	小児科専門医	メ	消化器内視鏡専門医
サ	内科専門医	ヌ	口腔外科専門医	モ	小児外科専門医
シ	外科専門医	ネ	内分泌代謝科専門医	ヤ	神経内科専門医
				ユ	リウマチ専門医

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
循環器疾患 (循環器科・心臓血管外科)	PCI(経皮的冠動脈インターベンション)	K614	経皮的冠動脈形成術	件	
		K615	経皮的冠動脈ステント留置術	件	
	虚血性心疾患手術	K588	冠動脈、大動脈バイパス移植術	件	
		K571	心室瘤切除術	件	
	弁膜症手術	K563	弁置換術(大動脈弁、僧帽弁等)	件	
		K561 K562	直視下弁形成術(房室弁輪形成術、三尖弁閉鎖症根治手術等)	件	
	大動脈手術	K605	大動脈瘤切除術 ①胸部	① 件	
			②腹部	② 件	
		K605-2	ステントグラフト内挿術 ①胸部大動脈	① 件	
			②腹部大動脈	② 件	
			③腸骨動脈	③ 件	
		k511	血管移植術、バイパス移植術 ①胸部	① 件	
			②腹部	② 件	
			③その他(EC-ICバイパスを除く)	③ 件	
	開心術補助	K599	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	件	
		K597	経皮的心肺補助法	件	
	不整脈手術	K552	ペースメーカー移植術(心筋電極、経静脈電極)	件	
		K554	ペースメーカー交換術(電池交換含む)	件	
		K554-2	埋込型除細動器移植術	件	
		K595	不整脈手術 ①Maze手術	① 件	
			②その他	② 件	
	K596	経皮的カテーテル心筋焼灼術	件		
	血管内超音波・内視鏡検査	D215	超音波検査(血管内超音波法)	件	
		D324	血管内視鏡検査	件	

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
循環器疾患 (脳神経外科)	脳動脈瘤手術	K178	血管内手術 (コイル塞栓術等)	件	
		K175	脳動脈瘤被包術	件	
		K176 K177	脳動脈瘤クリッピング	件	
	脳動静脈奇形手術	K178	血管内手術 (塞栓術)	件	
		K172	動静脈奇形摘出術	件	
		M001-2	ガンマナイフによる定位照射	件	
	頭蓋内血腫摘出術	K164	開頭頭蓋内血腫除去術 ①硬膜外	① 件	
			②硬膜下	② 件	
			③脳内	③ 件	
		K154	定位血腫吸引術	件	
	その他(脳虚血等)	K611	血管移植術、バイパス移植術(EC-ICバイパス等)	件	
		K606	動脈形成術、吻合術	件	
		K604	動脈血栓内膜摘出術	件	
		K178-2	経皮的脳血管形成術 ①PTA	① 件	
			②ステント	② 件	
K178-3	選択的脳血栓・塞栓溶解術	件			

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
小児・母子・周産期医療 (小児外科)	循環器先天性疾患手術	K589	ファロー四徴症手術	件	
		K592	完全大血管転換症手術	件	
		K609	大動脈離断・縮窄複合手術	件	
		K590	単心室症手術(心室中隔造成術)	件	
		K594-2	左心低形成症候群手術(ノルウッド手術)	件	
		K583	肺静脈還流異常症手術	件	
		K585	冠動脈起始異常症手術	件	
		K591	両大血管右室起始症手術	件	
		K593	総動脈幹症手術	件	
		K594	心内膜欠損症手術	件	
	消化器先天性疾患等手術	K528	先天性食道閉鎖症手術	件	
		K534	新生児横隔膜ヘルニア縫合術	件	
		K633	先天性腹壁異常(臍帯ヘルニア、腹壁破裂等)手術	件	
		K674	先天性胆管拡張症手術	件	
		K684	先天性胆道閉鎖症手術	件	
		K729	先天性腸閉鎖症手術	件	
		K735	先天性巨大結腸症(ヒルシュプルング病)及び類縁疾患手術	件	
	悪性腫瘍等手術		小児固型悪性腫瘍手術	件	

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
小児・母子・周産期医療 (新生児、未熟児医療等)	新生児・未熟児管理		① ~1,000g未満	① 件	
			② 1,000g~1,500g未満	② 件	
			③ 1,500g~2,500g未満	③ 件	
			④ 2,500g以上	④ 件	
	小児透析・血漿交換	J038	血液透析導入数	件	
		J039	血漿交換実施数	件	
	重症児管理	J045	呼吸管理(人工呼吸)件数(新生児以外)	件	

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
その他 (整形・形成外科)	人工関節・人工骨頭置換術	K082	①慢性関節リウマチに伴うもの	① 件	
			②変形性関節症に伴うもの	② 件	
			③大腿骨頸部骨折によるもの	③ 件	
			④腫瘍摘出後	④ 件	
			⑤その他(外傷等)	⑤ 件	
	脊椎観血的手術	K118	①椎間板ヘルニア手術	① 件	
			②脊椎すべり症、脊椎管狭窄症手術	② 件	
			③外傷	③ 件	
	手指等手術	K107	指移植手術	件	
		K088	切断四肢再接合術:四肢、指(手、足)	件	
各種再建手術	K020	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	件		
その他 (耳鼻科)	人工内耳手術	K329	人工内耳埋め込み術	件	
	鼓室手術	K319	鼓室形成術	件	
	顔面神経手術	K159	顔面神経減圧手術(顔面神経管開放術)	件	
その他 (歯科・口腔外科)	埋伏歯抜歯手術	J000	完全埋伏智歯、水平埋伏智歯抜歯術	① 件	
			①上顎 ②下顎	② 件	
	歯根端切除手術	J004	歯根端切除術	件	
その他 (移植医療)	腎臓移植	K779	移植用腎採取術(生体)	件	
		K780	同種腎移植術	件	
	骨髄移植	K922	血縁者間自己移植	件	

医療機能調査項目(記載例)

領域・分野	医療機能	保険診療上の区分番号 (施設基準が設定)	術式・医療処置	年間症例数	専門医の実人員
悪性腫瘍	食道がん手術	K527 K529	早期食道癌EMR(内視鏡的粘膜切除術)	10 件	(ノ) - 5人 (メ) - 3人
			早期食道癌PDR(光力学療法)	5 件	
			食道癌手術(2領域、3領域郭清)	10 件	
			鏡視下食道癌手術	10 件	
			顕微鏡下血管吻合を用いた消化管再建術(頸部食道癌に対する遊離空腸吻合)	5 件	
<p>平成15年4月1日から平成16年3月31日における件数を記載してください。</p> <p>各医療機能ごとに、厚生労働省医政局総務課長通知に基づき広告をすることができる専門医を、下記の資格等一覧表から該当する資格名の記号ごとに実人員を記載してください。          なお、1人の医師が複数の専門医の資格を有する場合は、資格単位で計上してください。          例: 1人の医師が消化器外科専門医と消化器内視鏡専門医を有する場合、(ノ) - 1人、(メ) - 1人。</p>					

専門性に関する資格等一覧表

記号	資格名	記号	資格名	記号	資格名
ア	整形外科専門医	ス	糖尿病専門医	ノ	消化器外科専門医
イ	皮膚科専門医	セ	肝臓専門医	ハ	超音波専門医
ウ	麻酔科専門医	ソ	感染症専門医	ヒ	細胞診専門医
エ	放射線科専門医	タ	救急科専門医	フ	透析専門医
オ	眼科専門医	チ	血液専門医	ヘ	脳神経外科専門医
カ	産婦人科専門医	ツ	循環器専門医	ホ	リハビリテーション科専門医
キ	耳鼻咽喉科専門医	テ	呼吸器専門医	マ	老年病専門医
ク	泌尿器科専門医	ト	消化器病専門医	ミ	心臓血管外科専門医
ケ	形成外科専門医	ナ	腎臓専門医	ム	呼吸器外科専門医
コ	病理専門医	ニ	小児科専門医	メ	消化器内視鏡専門医
サ	内科専門医	ヌ	口腔外科専門医	モ	小児外科専門医
シ	外科専門医	ネ	内分泌代謝科専門医	ヤ	神経内科専門医
				ユ	リウマチ専門医



## 地域連携の事例（概要）

## 県西部浜松医療センターと診療所で行われている地域医療連携

## ○ 県西部浜松医療センターにおける産科オープンシステム

## ・制度の概要

- ア 出産までの健康診査は、産科の診療所で実施
- イ 出産については、県西部浜松医療センターで対応
- ウ 出産後の健康診断は、紹介元の診療所で実施
- エ 帝王切開等のハイリスクの出産は、出産後も県西部浜松医療センターで対応
- オ 病院の医師と診療所医師が、患者への直接指導や面談による治療方針の検討などにより、退院指導、術後管理等に関して共同指導を実施

## ・病院の対応状況等

- ア 病院の利用病床数は産科 18 床及び婦人科病棟 40 床の一部
- イ 病院の総出産数 1,035 件中オープンシステムによる出産 690 件（平成 15 年度）

## 静岡市静岡医師会と市内の病院、救急隊との地域医療連携

## ○ 在宅患者相互連携システム（イエローカード・システム）

静岡市静岡医師会と静岡市内の 5 病院が連携して実施している、在宅の寝たきりの患者に対する連携システムです。

## ・制度の概要

- ア 在宅の寝たきり患者が、病状の悪化などに備えて、自分が診療を希望する病院を選択し、かかりつけ医は、当該患者の病状をあらかじめ病院に登録します。
  - 患者にイエローカードを配布。
- イ 家で寝たきりの患者の容態が急に悪くなったときは、まず、かかりつけ医に連絡しますが、万一、連絡がとれない場合は、イエローカードに登録してある病院に連絡し、当該病院で診療を受け、必要ならば入院もできます。

## ○ 在宅医療支援看取りシステム（グリーンカード・システム）

## ・制度の概要

- ア 家族とともに在宅で最後を全うしたいと希望する患者について、かかりつけ医は患者の希望を受けて、あらかじめ病状を医師会に登録しておきます。
  - 患者にグリーンカードを配布。
- イ 在宅で看取りを希望される患者の容態が急変したときには、まず、かかりつけ医に連絡します。万一、連絡が取れない場合は、救急隊に電話をし、グリーンカードを持っていることを伝えると、救急隊が当番の医師に連絡し、当該医師が駆けつけ、在宅患者の看取りを行います。